

春日市ため池 ハザードマップ

てらだいけ
寺田池

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、寺田池が決壊し、貯水量が時間とともに流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

 収容避難所
(小・中学校)

 福祉避難所 公共施設など
なお、浸水する避難所、公共施設などは使用できません。

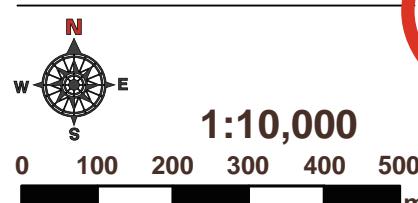
- ● ● 到達時間
- ため池 ■ ため池・河川等
- 土石災害警戒区域
- 土石災害特別警戒区域

The diagram illustrates three levels of flooding based on building height:

- 2階以上が浸水する程度** (Flooding reaches above the second floor): 3m or more of flooding.
- 1階の軒下まで浸水する程度** (Flooding reaches under the eaves of the first floor): 0.5m to 3m of flooding.
- 床上浸水 床下浸水** (Floodwater covers the bed): 0.5m or less of flooding.



【ため池諸元】	寺田池
堤 高	6.3m
堤 頂 長	145.0m
総貯水量	68,400m ³



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。

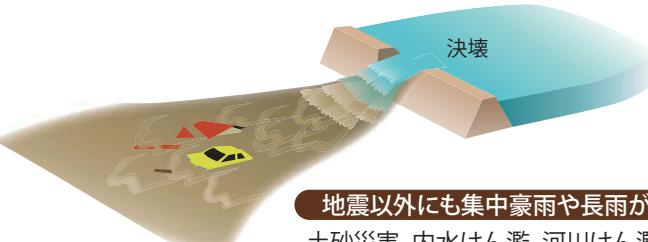
用した。
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
B 5JHs 594

作成／令和6年3月 春日市下水道課

This map illustrates the expected inundation areas and evacuation times in Fukuoka City, specifically in the Minami-ku area. The map shows various roads, including the Fukuoka Urban Expressway (福岡都市高速), National Route 575 (575), National Route 49 (49), National Route 202 (202), National Route 505 (505), and National Route 31 (31). It also indicates several rivers: Nakagawa River (中川), Kita River (北川), and Kita River (北川). The map highlights specific regions such as Kyonan-ku (須玖地区), Kiyama-ku (柳瀬地区), and Miyakonojo-ku (弥永地区). A large blue shaded area represents the Daito Pond (寺田池). Red dashed lines indicate the progression of flooding over time, starting from the bottom right and moving towards the center and left side of the map. Labels for 'Flood After 5 Minutes' (決壟後5分) through 'Flood After 60 Minutes' (決壟後60分) are placed along these lines. A red box on the left side of the map contains the text '福岡市内に浸水が想定される範囲' (Areas where flooding is expected in Fukuoka City). Other labels include JR Kyushu Shin-Osaka Line (JR九州 新幹線), JR Hakata South Station (JR博多南駅), and various schools and community centers like Kyonan Primary School (須玖小学校), Kyonan North Middle School (須玖北中学校), and Kyonan South Middle School (須玖南中学校).

春日市ため池ハザードマップ

この「ため池ハザードマップ」は、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に貯水量が時間とともに流出する状況を想定した浸水範囲や深さ、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合や決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



地震以外にも集中豪雨や長雨が発生したら…
土砂災害、内水はん濫、河川はん濫などの災害が
発生する可能性があります。
様々な災害状況を想定して避難を考えましょう。

» インターネットによる最新情報の入手先

春日市LINE公式アカウント

ハザードマップや気象情報、近隣の避難所を検索できる他、緊急時には最新の災害情報を受け取れます。LINEホーム画面から、追加ボタンで「春日市」を登録。

春日市LINE公式アカウント

検索



福岡県防災アプリ



●地震・豪雨によるため池決壊のメカニズム

もし、ため池が決壊したら…

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。

地震によるため池の被災メカニズム

クラック

- 堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。
- 堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあります、特に注意が必要です。

沈下

- 堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴ないうちに堤体が沈下する場合があります。
- 多くは、軟らかい地盤で発生しています。

斜面崩壊

- 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで、変形が生じる場合があります。

斜面すべり

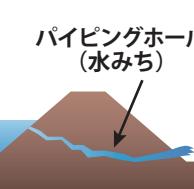
- 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。

崩壊

- 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。
- 決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

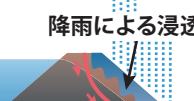
豪雨によるため池の被災メカニズム

浸透破壊



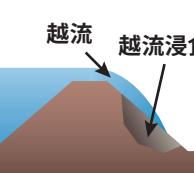
- 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。
- また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。

すべり破壊



- 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。

越流破壊



- 豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流化することによって、破壊する場合があります。
- また、貯水位の上昇により、堤体内部の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

寺田池

» いざというときの緊急連絡先

消防 火事・救助・救急	119 (局番なし)
警察 事件・事故の通報	110 (局番なし)
春日市役所	092-584-1111
春日・大野城・那珂川消防署	092-584-1191
春日警察署	092-580-0110
九州電力 福岡南営業所	0120-639-460
春日那珂川水道企業団	092-571-7001
NTT西日本 故障受付	113 (局番なし)
災害用伝言ダイヤル パソコン・スマートフォン 携帯電話からは	171 (局番なし) https://www.web171.jp

●状況に応じた避難をしよう

» ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- 裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

【浸水の深さ】

3m 以上の浸水

- 2階以上が浸水
- 水流が強い場合には木造住宅が倒壊する危険がある

【判断】

必ず

- 時間と安全な避難経路が確保されていれば

【どこへ】

浸水しない場所
(避難場所、道路、空き地、高台など)

- 安全な場所へ避難する
- 立退き避難(水平避難)



【どうやって】

- 歩きやすい服装
- 徒歩で避難
- お年寄りなどの避難に協力を
- 事前に避難先を話し合う

【0.5~3m 未満の浸水】

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

【自宅の2階危険のない近くの高い建物】

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

【0.5m 未満の浸水】

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると歩行は危険

【自宅にとどまる】

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内安全確保

- こんなときは避難しましょう
 - 大規模な地震が発生したら(2~3日後までは警戒が必要)
 - 集中豪雨、長雨のとき
 - 避難指示が発令されたら

●「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発生された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。

但し、土砂災害や洪水など、他の災害では危険性の高まりに応じて、避難情報を発令しますので、避難開始の参考としてください。

春日市役所

避難情報

- 防災情報メール
- エリアメール
- 消防団

報道機関

- テレビ
- ラジオ
- インターネット

住民のみなさん

緊急安全確保

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

